

「協同労働協同組合」法制化の時代に
働く人びと＝市民の「協同総合研究」運動の新たなうねりを

三・二四 協同総合研究所設立一〇周年記念集会のご案内

二〇〇一年二月三日

各位 殿

協同総合研究所 理事長 中川雄一郎
主任研究員 菅野正純
専務理事 坂林哲雄

協同総研会員のみなさま、ご協力をいただいているすべてのみなさま

協同総合研究所は、みなさまのおかげをもちまして、この三月に一〇周年を迎えることとなりました。

当研究所は、初代理事長の黒川俊雄先生が慶応大学在職中に主宰された「地域コミュニティ・労働者協同組合研究会」を源流とし、「いま協同」を問う集会の発展を受けて、一九九二年三月三日に設立されたものです。

それは「労働者協同組合」という新たな事業・運動を深く検討すると共に、地域に芽吹く「協同」の営みの大きな交流を促しながら、現代における「協同」の意味と可能性を問う実践者と研究者が協同した「働く人びと＝市民の協同総合研究運動」のセンターたらんとしたものでした。

正直なところ、その企図の本格的な実現は、まだ達成されているとは言えません。しかし、この一〇年の歩みの中で、「生命・労働・地域の再生」といつ「協同」の根源的な意味と、そのネットワークの中核としての「協同労働」の役割を次第に明確にすることができました。そして、「協同労働の協同組合」法制化の構想を練り上げ、その全市民的な取り組みを基礎づけると共に、昨年の「いま協同」を拓く二〇〇〇全国集会」では、若者から高齢者までのすべての人びとにとって、また「福祉のまちづくり」から農業・農村・森林の再生にいたる様々な課題にとって、いまや「協同」と「協同労働」が不可欠の位置を占めていることを、明らかにすることができました。

グローバル化の進展の中で、地球的な規模で環境危機や多数の人びとの生存と生活の危機が進行する一方で、わが国においても、人びとの人生とコミュニティの再生を基礎に、政治・経済・社会システムを根底的に変革することが、いまや求められています。

働く人びと＝市民が、そうした普遍的な視野から「協同」と「協同労働」を位置づけ、しかも日々の仕事と地域生活の中でそのことを実践的にどのように具体化していくのか、「働く人びと＝市民の協同総合研究運動」の本領が、いよいよ本格的に問われています。

そのような思いから、三月二四日、東京虎ノ門「パストラル」を会場に、協同総研設立一〇周年を記念する集会を企画しました。お忙しい中とは存じますが、働く人びと＝市民が新しい文化を自らのものとして、社会の主体として登場していく、その一つの、ささやかな、しかし決意を込めた、新たな出発点として、ぜひお集まりいただくよう、心よりお願い申し上げます。

日時 三月二四日(土) 午後二時～

場所 東京虎ノ門「パストラル」(添付地図参照)

次第 式典(一〇年の歩み) 二時～三時

リレートーク(参加者による「協同」「協同労働」「働く人びと＝市民による
「協同総合研究運動」への期待と決意の五分間スピーチ)

レセプション 五時～七時

会場準備の都合がございますので、左記ファックス宛に出欠のご連絡を、三月一〇日までに
お願い申し上げます。また、インターネットからの申し込みもできます。

FAX 〇三(五九六三)五三六六 協同総合研究所

インターネットでのお申し込みは、こちらをクリックして下さい。

ファイル名 : 協同総研一〇周年集会ご案内 (1).doc
フォルダ : C:\WINDOWS\Temporary Internet
Files\Content.IE5\AL2NKTUJ
テンプレート : C:\WINDOWS\Application
Data\Microsoft\Templates\Normal.dot
表題 : 「協同労働協同組合」法制化の時代に
副題 :
作成者 : 菅野正純
キーワード :
説明 :
作成日時 : 01/02/23 9:57
変更回数 : 2
最終保存日時 : 01/02/23 19:35
最終保存者 : 菅野正純
編集時間 : 345 分
最終印刷日時 : 01/02/26 16:51
最終印刷時のカウント
ページ数 : 1
単語数 : 228 (約)
文字数 : 1,302 (約)